

まだ間に合う！ “鳩山式” 夏休み自由研究のススメ

小中学生の夏休みの宿題の中でも、「自由研究」はテーマ選びも一苦労。今月号では、町内で取り組める自由研究のテーマ例をご紹介します。

観測を知る

より高度な内容に挑みたい、という方におすすめのテーマが「観測技術」です。「宇宙に近いまち」である鳩山町には、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の施設である地球観測センター(大橋1401。☎298-1200)があります。同施設は、予約をすれば、職員が説明をしながら施設内の案内をしてくれます。(平日のみ)

地球観測センターの広報担当 土井さんは「人間の目では見ることができない海面の温度など、宇宙からの人工衛星だ

「宇宙に近いまち」で観測技術を学ぼう

からこそ見える画像などを通して、地球温暖化などについても学ぶことができます」と施設見学の魅力を話します。

地球環境に目を向ける 大きな視野を持つ

施設内に立つ巨大なパラボラアンテナが人工衛星から受信するデータは、私たちの暮らしのさまざまな場面で活用されています。役に立っていることを調べることで、きつと地球環境や災害対策などにも目を向けることとなるでしょう。学習を通じて、そんな大きな視野も身につけられるはずです。

おすすめの「展示品」

★地球観測展示室

地球観測衛星の模型や宇宙から見た地球の画像などを見ることができます。



★「宇宙の暮らし」が分かるDVD

見学ツアーでは、宇宙飛行士の国際宇宙ステーションでの日常生活を紹介したDVDも見ることができます。クイズ形式で楽しく学べます。



午前中なら、運が良ければアンテナが動くシーンも見られるよ♪



昔を知る

元気なシニアの皆さんに 昔の暮らしを聞いてみよう

「埼玉県65歳健康寿命」の指標で、男女とも3年連続1位となるなど、鳩山町のシニアの皆さんは、まだまだ元気な方がたくさんいらっしゃいます。そんな元気なシニアの方々に協力いただく自由研究テーマが「昔の暮らしを聞く」です。

祖父母の方や、地域のシニアの方々に、子どもの頃、どのような暮らしをしていたかを聞いてみてはいかがでしょうか？

様々な地方の特色も学べる

「鳩山村」が誕生したのは今から63年前の昭和30年(1955年)。鳩山ニュータウンの入居が始まったのが昭和49年(1974年)です。現在、ニュータウンに住んでいるシニアの皆さんは、多くが地方から移住してきた方々です。

昔の暮らしを聞くときは、ぜひ、ニュータウンに住んでいるシニアの皆さんにも話を聞いてみてください。きつと、以前住んでいた地方の暮らしぶりも勉強できるはずです。

そして、「おそらく出てくるであろう」戦争の話。時に悲惨な体験談も、きちんと耳を傾けてください。身近にいる人の生きてきた時代に想いをはせることができれば、その人により親しみが湧いてくることでしょう。

「昔の暮らし」を知る一例

- ★子どもや大人の娯楽は何が流行っていたのか
- ★人気のあった食べ物はどのようなものだったのか
- ★どんな洋服やアクセサリを付けていたのか
- ★夏休みはどのように過ごしていたのか

昔の暮らしを知る生活用品

現在65歳以上の方が、10代前後の昭和25～35年代(1950～60年代)の生活用品の一部をご紹介します。(資料提供：町教育委員会・埼玉ピースミュージアム)



ミシンは今よりも大型の足踏み式のものを使用していました。衣類などを修復して長く使うため、生活の必需品でした。



ラジオは、情報収集だけでなく娯楽のためにも欠かせないものでした。



沼で使用していた「鯉取りかご」。魚は貴重な栄養源でした。



時計は、ゼンマイ式の柱時計が主流でした。振り子の音が特徴的です。

関連イベント情報

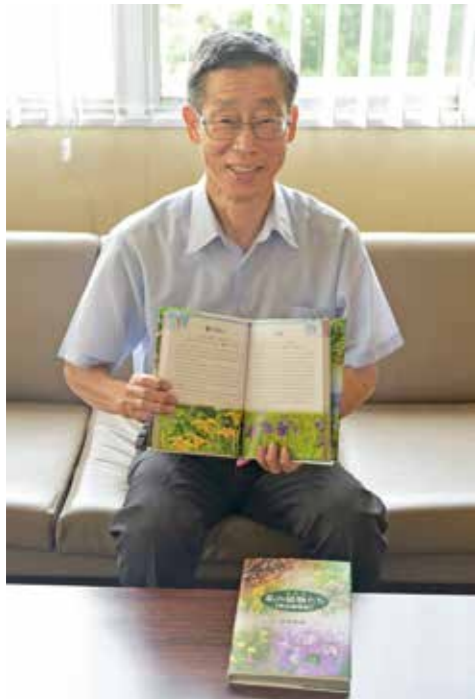


日本宇宙少年団鳩山分団 手作り望遠鏡&星空観察会

夏休みの自由研究に、星にちなんだ工作・学習をしてみませんか。

対象 原則、小学3年生～中学3年生
日時 8月18日(土) 午後6時～8時
場所 鳩山町農村公園
内容 手作り望遠鏡の工作、天体観測に関する講

義、夏の夜空の観測
講師 日本宇宙少年団鳩山分団 分団長 石井達朗氏、鳩山町長 小峰孝雄氏
申込・問合せ 8月16日(金)までに役場政策財政課(☎296-1212)へ
※日本宇宙少年団鳩山分団団員以外の方は、事業への体験参加となります。



■鳩山町で生まれ育ち、教員を経て、現在町社会教育指導員を務めている中澤利雄さんと、自費出版した「私の植物たち【鳩山植物記】」（税込 3,000 円）。鳩山町コミュニティ・マルシェで購入可。問合せは中澤氏（☎ 296-0572）まで。

自由研究は過程が大事

「一般的に常識となっていることや当たり前前のことでも、子ども自身が見つけることが大事です。自由研究は、見栄えのいい結果ではなく、その過程が重要です。失敗を恐れずに、どんなことにでも挑戦してほしいですね」と中澤さんが話すように、研究の成果物ばかりを気にせず、自分なりの「発見」を探しに、町の細部に目を向けてみましょう。

自由研究を通じて、鳩山町のことももっと好きになる、もっと町の人と話をする、そんな夏休みになるといいですね。

おすすめの「植物観察法」

- ★図鑑や本にある植物が、町内のどこにあるかを探し、地図にする。
- ★家の庭や近くの神社、公園など、限られた範囲で、その中にある植物を探し、調べる。
- ★3～4週間程度の期間で、特定の場所で育つ植物の変化を調べる。

その場で記録し、遠い所も撮影できるデジタルカメラがあると便利だよ



植物を知る

鳩山町で生きる夏の植物を観察しよう

自然豊かな鳩山町は、少し歩けば様々な動植物に出会えます。特に、普段何気なく見ている植物は、実はさまざまな種類が存在しています。そうした植物にまつわるエピソードを綴った本が、「私の植物たち【鳩山植物記】」として、6月に完成しました。

「小さな探険」に出かけよう

著者で、町社会教育指導員の中澤利雄さんが「春夏秋冬ごとに、1、2ペー

ジ1話でまとまっていて、どこから読んでもいい構成です。図鑑ではありませんが、鳩山の植物や自然に目を向けるきっかけになってほしい」と話す内容は、植物観察をするときにも役立つはず。本を読んで、面白そうだと思った植物を見つけたら、町内での「小さな探険」の始まりです。

植物を見つけたら、よく観察し、自分なりに特徴をまとめてみましょう。そのメモを手に、図書館などでその植物のことを調べると、新たな発見があるはずですよ。

一緒に宿題がんばろう！



大学生による「夏休み学習支援ボランティア」

鳩山町に住む大学生といっしょに、夏休みの宿題や自由研究をやりませんか。お兄さん・お姉さんが優しくサポートします。中学生の皆さんは、部活動や進路の相談も大歓迎！（保護者の見学も可）
対象：小中学生 日時：8月26日

（日）午後1時～4時（出入り自由）
場所：鳩山町コミュニティ・マルシェ
持ち物：勉強や自由研究で使用するもの 参加費：100円（ジュース代）
問合せ：鳩山町コミュニティ・マルシェ ☎ 272-7528（祝日を除く、午前9時～午後5時）



鳩山中学校グラウンド脇に設置されているアメダス。この付近は盆地になっていて、空気の流れが少ないことなども、気温が高くなる理由の一つではないかと言われています。

微気候を知る

アメダスのある鳩山町で「ミクロの気候」を調べる

「微気候」とは、住まいとその周辺に限った、狭い範囲（ミクロ）の気候を言います。鳩山町には、気温・降水量・風向きなどの気象状況を計測する「アメダス（地域気象観測システム）」があります。その設置地点と比べて、自分の住んでいる家やその付近のさまざまな場所の気候はどうかを調べて、地図にしてみましたいかがでしょうか。

天気予報では広い範囲の内容が多いですが、もっと細かく比較することで、夏を涼しく過ごすヒントなどにも出会うかもしれません。

「微気候マップ」の作り方

- ①アメダスの設置場所における気象状態を調べる。 [アメダス 鳩山](#)
- ②簡易的な温度計などを用意し、自宅等の狭い範囲の中で、気温や風向きなどを計測・記録し、アメダスのデータと比較していく。
- ③調べたことや分かったことを地図にしたら、あなただけの「微気候マップ」が完成！

シルバー人材センター「夏休み宿題教室」

取り組みにくい絵画・作文・ドリルなどを、シルバー会員が親切にサポートします。
対象：町内在住の小学生 期間：夏休み中の午前10時～11時30分（土・日曜日を除く）
場所：鳩山町シルバー人材センター 事務所 会議室 費用：1回500円 申込・問合せ：鳩山町シルバー人材センター ☎ 296-6216

夏休みの宿題などの学習支援をサポート

地域で行われている夏休みの学習支援活動の一例をご案内します。

「町を知る」自由研究テーマ

町の食材を使ったレシピづくり

特産品を知る



町の特産品を調べて、それを使ったレシピを考えてみてはいかがでしょうか。あなたの考案したレシピが、「はとっ子給食レシピコンテスト」(※)を通じて、給食のメニューになるかもしれませんよ。
※応募期限は9月3日(月)。詳細は、学校からのチラシまたは「広報はとやま」7月号の7ページを参照。

[はとっ子給食レシピコンテスト](#)

自転車版「ヒヤリ鳩マップ」

交通事故を防ぐ



交通死亡事故ゼロ継続日数を更新中の鳩山町。自転車で町内に出かけて（自転車乗車時は必ずヘルメットを！）、「ここは危ない」という場所を見つけ、地図を作ってみませんか。町内の事故発生状況は、埼玉県警察が発表している「事件事故発生マップ」が参考になります。

[埼玉県 事故マップ](#)

災害時の避難行動シミュレーション

防災を考える



災害の少ない鳩山町ですが、夏場は台風や豪雨による水害や土砂災害への不安が大きくなります。「鳩山町ハザードマップ」などを活用し、万が一の場合、どのように行動したらよいかを考えてみてはいかがでしょうか。

[鳩山町ハザードマップ](#)